

- 12) 小林哲夫：歯周病と全身との関わり．平成 26 年度新潟大学保健管理センター健康セミナー，新潟市，2014 年 10 月 29 日，2014.
- 13) 吉江弘正：健康長寿のための歯周診療．昭和薬品化工株式会社主催学術講演，東京都，2014 年 10 月 28 日，2014.
- 14) 山崎和久：Periodontitis and systemic disease-Enigmatic relationship-. サンスター社内セミナー，高槻市，2014 年 10 月 20 日，2014.
- 15) 小林哲夫：関節リウマチ患者における歯周病と口腔ケア．第 10 回「リウマチと感染症」研究会，東京都，2014 年 10 月 18 日，2014.
- 16) 小林哲夫：歯周炎と関節リウマチ．第 43 回埼玉南部リウマチ懇話会，さいたま市，2014 年 9 月 18 日，2014.
- 17) 山崎和久：歯周病と全身の健康．平成 26 年度河渡病院職員研修会，新潟市，2014 年 9 月 11 日，2014.
- 18) 吉江弘正：歯周病診断における新規検査．厚生労働省・日本歯科医師会 社会保険指導者研修会講演，東京都，2014 年 9 月 7 日，2014.
- 19) 吉江弘正：歯周病患者における抗菌療法：薬物とレーザー．新潟大学歯学部同窓会栃木県支部学術講演会，宇都宮市，2014 年 8 月 24 日，2014.
- 20) 両角俊哉：ニッチから展開する臨床研究．第 3 回神奈川歯科大学口腔科学講座歯周病学分野・横浜クリニック合同報告会，横浜市，2014 年 8 月 20 日，2014.
- 21) 吉江弘正：歯周病患者における抗菌療法と a-PDT．第 2 回ペリオウエイブ臨床研究会 学術発表会，東京都，2014 年 7 月 21 日，2014.
- 22) 山崎和久：糖尿病-歯周病連関における新たなメカニズム．シンポジウム「糖尿病の合併症」/ 第 699 回新潟医学会例会，新潟市，2014 年 7 月 19 日，2014.
- 23) 山崎和久：歯周疾患と全身疾患を結ぶ新たなメカニズム．平成 26 年度第 1 回長野市歯科医師会臨床座談会，長野市，2014 年 5 月 28 日，2014.

歯科矯正学分野

【著書】

- 1) Saito I, Watanabe N: Class III facial asymmetry and surgical orthodontic treatment. In: Peter Nagan, Toshio Deguchi, Bakr Rabie, Eugene Roberts eds. Class III eBook, Bentham Science Publishers, Sharjah, United Arab Emirates, 250-280, 2014.
- 2) 齋藤 功：「治療メカニクスから生じる望ましくない反作用を抜去適用歯の利用によりコントロールし

た症例：変則的固定．(翻訳)」「[Monini A da C et al. Controlling mechanical undesirable side effects with a tooth indicated for extraction: Free anchorage. Orthodontics 2013;14:e210-e220.] より」．臨床家のための矯正 YEAR BOOK '14, クインテッセンス出版 (佐々木一高編)，133-142 頁，東京，2014.

【論文】

- 1) Moin S, Kalajzic Z, Utreja A, Nihara J, Wadhwa S, Uribe F, Nanda R: Osteocyte death during orthodontic tooth movement in mice. Angle Orthod, 84(6): 1086-1092, 2014.
- 2) Varverde GY, Yoshikawa H, Saito I, Maeda T, Seo K: Effect of local application of an antibody against brain-derived neurotrophic factor on neuroma formation after transection of the inferior alveolar nerve in the rat. Neuro Report, 25(13): 1069-1074, 2014.
- 3) Watanabe Y, Mohri T, Yoshida R, Yamaki M, Saito I: Orthodontic treatment combined with tooth transplantation for an adult patient with missing mandibular first molar: Long-term follow-up. Am J Orthod Dentofacial Orthop, 145(4): S114-S124, 2014.
- 4) Nihara J, Gielo-Perczak K, Cardinal L, Saito I, Nanda R, Uribe F: Finite element analysis of mandibular molar protraction mechanics using miniscrews. Eur J Orthod 37(1): 95-100 2015.
- 5) 齋藤 功，須佐美隆史，朝日藤寿一，榎 宏太郎，吉村陽子，鈴木茂彦，後藤昌昭，小野和宏，峪 道代，藤原百合：5-Year-Olds' Index 講習会-日本口蓋裂学会 Japan cleft 委員会活動報告-．日口蓋誌 39(1)：46-50，2014.
- 6) 小原彰浩，西野和臣，焼田裕里，越知佳奈子，寺田員人，齋藤 力，齋藤 功：CBCT 頭蓋顎顔面硬軟組織三次元データと歯列模型三次元データ統合モデルの開発．日顎変形誌，24(3)：218-224，2014.
- 7) 齋藤 功：骨格性 II 級症例に対する外科的矯正治療-治療方針の決定における基本的事項と留意点-．日顎変形誌 24(4)：352-360，2014.

【商業誌】

- 1) 宮田昌幸，柴田 実，朝日藤寿一：口蓋裂の初回手術マニュアル (コツと工夫) Furlow 法による口蓋裂初回手術-裂幅の広い場合のコツと留意点-：19-24，2014.

【研究費獲得】

- 1) 福井忠雄，齋藤 功，林 孝文：超音波診断検査を

用いた顎変形症の機能的診断法の開発. 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 25463173, 2014.

- 2) 朝日藤寿一, 齋藤 功, 高木律男, 児玉泰光: 口蓋裂患者に対する上顎前方移動術後の鼻咽腔閉鎖機能予後総合評価システムの確立. 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 25463175, 2014.
- 3) 渡邊直子, 林 孝文, 齋藤 功: 有限要素法と骨リモデリングシミュレーションによる効果的顎変形症治療システムの開発. 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 24593086, 2014.
- 4) 越知佳奈子, 齋藤 功, 齊藤 力: 機械学習理論を実装した顎変形症診断支援データベースシステムの開発とその臨床応用. 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 26463091, 2014.
- 5) 焼田裕里: 顎矯正手術シミュレーションへの応用を視野にいた術前後軟組織変化様相の解明. 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 若手研究 (B), 25862007, 2014.
- 6) 丹原 惇: 有限要素法を用いた顎矯正手術後の顎骨内応力解析による術後変化予測とその臨床応用. 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 若手研究 (B), 25862005, 2014.
- 7) 吉居朋子: アクアポリン1を用いた歯の移動におけるラット臼歯歯根膜動態の比較検討. 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 若手研究 (B), 25862006, 2014.
- 8) 齋藤 功, 榎宏太郎, 丹原 惇: 顎骨内応力解析を用いた成長シミュレーションによる顎変形症診断システムの開発. 平成 26 年度日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 研究課題番号 26463090, 2014.
- 9) 佐野富子, 大島邦子, 朝日藤寿一: 障害に応じた歯科の対応法の確立～心身障害児の心理的ストレス定量化を通して～. 平成 26 年度日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 研究課題番号 25463172, 2014.
- 10) 高辻華子: 嚥下反射を修飾する咽頭・喉頭感覚の検討. 平成 26 年度研究活動スタート支援, 課題番号 268930880001, 2014.
- 11) 高橋功次朗: うつ病モデルラットを用いた疼痛性障害発症の解明. 平成 26 年度研究活動スタート支援, 課題番号 2689308400021, 2014.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Saito I, Kook YA: Coordinators for Symposium of the 5th JOS-KAO joint Meeting “Treatment for patients with vertical problems”. The 73rd Annual Meeting of the JOS and the 5th joint meeting of JOS & KAO, Chiba, Japan,

October 20-22, 2014, abstract book: p.76-95, 2014.

- 2) 朝日藤寿一: 口唇裂・口蓋裂症例の上顎狭窄歯列弓に対する側方拡大について. 第 38 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 シンポジウムIV いま矯正治療に思う. 札幌, 2014 年 5 月 30-31 日, 日口蓋誌 39 (2): 79 頁, 2014.
- 3) 朝日藤寿一: 上顎前方牽引装置使用の現状と新潟大学医歯学総合病院矯正歯科の対応について. 第 38 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 ポストセミナー 唇顎口蓋裂患者に上顎前方牽引装置は有効か? 札幌, 2014 年 5 月 30-31 日, 日口蓋誌 39 (2): 16 頁, 2014.
- 4) 齋藤 功: 骨格性 II 級症例に対する外科的矯正治療—治療方針の決定における基本的事項と留意点—. 第 24 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会第 10 回教育研修会, アクロス福岡, 福岡市, 2014 年 6 月 9 日, 日顎変形誌 24 (2): 13 頁, 2014.
- 5) 齋藤 功: 外科的矯正治療による顔貌の変化—鼻部・オトガイ部形態に着目して—. 第 24 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会イブニングセミナー. 「外科的矯正治療における顔貌のバランスと調和を考える—鼻とオトガイの形態変化—」, 2014 年 6 月 10 日, アクロス福岡, 福岡市, 日顎変形誌 24 (2): 108-109 頁, 2014.
- 6) 福井忠雄: 顎顔面の垂直的異常を有する症例の外科的矯正治療 surgical orthodontic treatment for patients with vertical problems. 第 73 回日本矯正歯科学会大会, 第 5 回日韓ジョイントミーティング 2014. 10. 20-2014. 10. 22, 千葉, 大会抄録集 994-5 頁, 2014.

【学会発表】

- 1) Nihara J, Uribe F, Cardinal L, Nanda R, Saito I: Finite element analysis of mandibular molar protraction with sliding mechanics and miniscrews. The 6th World Implant Orthodontic Conference Anaheim, CA 2014.10.3-2014.10.5.
- 2) C.SATO, M.YAMAKI, K.KUDO, M.YAGI, I.SAITO: The Relationship Between Subjective and Objective Evaluations of Dentition. International Association for Dental Research (IADR) 93rd General Session & Exhibition of the IADR PROGRAM BOOK vol.93-256 2015.3.11-2015.3.14.
- 3) M.OHKURA, N.OHKURA, N.YOSHIBA, K.YOSHIBA, H.IDA-YON EMOCHI, H.OHSHIMA, I.SAITO and T.OKIJI: Prostaglandin I2 Receptor Expression in Orthodontic Force-applied Rat Dental Pulp International

Association for Dental Research(IADR) 93rd General Session & Exhibition of the IADR PROGRAM BOOK vol.93-196 2015.03.11-2015.03.14.

- 4) Takahashi K, Shinoda M, Unno S, Takatsuji H, Saito I, Yamamura K, Iwata K, Kitagawa J: Involvement of astroglial glutamate-glutamine shuttle in modulation of the jaw-opening reflex in rats with infraorbital nerve ligation. 第 56 回歯科基礎医学学会学術大会・総会, 2014年9月26-28日, 福岡市, 抄録集: 42頁, 2014.
- 5) 小山貴寛, 芳澤享子, 児玉泰光, 小林孝憲, 安島久雄, 五十嵐友樹, 小野和宏, 齋藤 功, 小林正治, 飯田明彦, 高木律男: 腸骨移植後の顎裂部への歯の移植-凍結保存歯移植の可能性-. 第 38 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 平成 26 年 5 月 29-30 日, 札幌市, 日口蓋誌 39 (2) 抄録号: 99 頁, 2014.
- 6) 藤原百合, 朝日藤寿一, 峪 道代, 鈴木恵子, 鈴木茂彦, 吉村陽子, 後藤昌昭, 小野和宏, 須佐美隆史, 槇宏太郎, 齋藤 功: 口唇裂・口蓋裂の治療評価に関するアンケート調査-音声言語領域について-. 第 38 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 平成 26 年 5 月 29-30 日, 札幌市, 日口蓋誌 39 (2) 抄録号: 151 頁, 2014.
- 7) 朝日藤寿一, 幸地省子, 須佐美隆史, 丹原 惇, 齋藤 功: 顎裂部骨移植に関するアンケート調査. 第 38 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 平成 26 年 5 月 29-30 日, 札幌市, 日口蓋誌 39 (2) 抄録号: 153 頁, 2014.
- 8) 朝日藤寿一, 藤原百合, 鈴木茂彦, 吉村陽子, 後藤昌昭, 小野和宏, 須佐美隆史, 槇 宏太郎, 峪 道代, 鈴木恵子, 齋藤 功: 口唇裂・口蓋裂の治療評価に関するアンケート調査. 第 38 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 平成 26 年 5 月 29-30 日, 札幌市, 日口蓋誌 39 (2) 抄録号: 183 頁, 2014.
- 9) 眞館幸平, 朝日藤寿一, 大湊 麗, 児玉泰光, 高木律男, 齋藤 功: 二段階口蓋形成法においてFurrow法を施行した口蓋裂児の顎発育-Perko 法との比較-. 第 38 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 平成 26 年 5 月 29-30 日, 札幌市, 日口蓋誌 39 (2) 抄録号: 190 頁, 2014.
- 10) 池田順行, 高木律男, 小玉直樹, 勝見祐二, 児玉泰光, 小原彰浩, 齋藤 功: 外科的矯正治療を施行した筋緊張性ジストロフィーの 1 例. 第 24 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 2014 年 6 月 10-11 日, 大阪市, 日顎変形誌 24 (2) : 123 頁, 2014.
- 11) 阿部 遼, 丹原 惇, 高橋功次朗, 大竹正紀, 西野和臣, 坂上 馨, 永井嘉洋, 森田修一, 齋藤 功: 過去 10 年間に外科的矯正治療を適用した骨格性下顎前突症における抜歯症例数推移. 第 24 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 2014 年 6 月 10-11 日, 大阪市, 日顎変形誌 24 (2) : 157 頁, 2014.
- 12) 坂上 馨, 篠倉千恵, 福井忠雄, 齋藤 功: 舌圧センサーシートを用いた個性正常咬合者と骨格性下顎前突症患者の嚙下時舌運動の比較. 第 24 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 2014 年 6 月 10-11 日, 大阪市, 日顎変形誌 24 (2) : 177 頁, 2014.
- 13) 小栗由充, 福井忠雄, 森田修一, 竹山雅規, 越知佳奈子, 中川麻里, 篠倉千恵, 焼田裕里, 井表千馨, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院における矯正用インプラントアンカー (仮称) 併用症例を顧みて. 第 29 回甲北信越矯正歯科学会大会, 2014 年 6 月 15 日, 塩尻市, 抄録集: 33 頁, 2014.
- 14) 小栗由充, 井表千馨, 齋藤 功: 叢生を伴うアングル II 級上下顎前突. 第 29 回甲北信越矯正歯科学会大会, 2014 年 6 月 15 日, 塩尻市, 抄録集: 38 頁, 2014.
- 15) 工藤和子, 朝日藤寿一, 齋藤 功: 下顎骨の軽度下顎左方偏位を伴うアングル II 級上顎前突. 第 29 回甲北信越矯正歯科学会大会, 2014 年 6 月 15 日, 塩尻市, 抄録集: 44 頁, 2014.
- 16) 竹山雅規: 多数歯先天性欠如, 上顎右側犬歯の埋伏を伴う Angle Class II subdivision 過蓋咬合症例. 第 29 回甲北信越矯正歯科学会大会, 2014 年 6 月 15 日, 塩尻市, 抄録集: 44 頁, 2014.
- 17) 篠倉千恵, 福井忠雄: 下顎骨軽度左方偏位を伴う Angle Class I 前歯部開咬症例. 第 29 回甲北信越矯正歯科学会大会, 2014 年 6 月 15 日, 塩尻市, 抄録集: 46 頁, 2014.
- 18) 坂上 馨, 篠倉千恵, 福井忠雄, 堀 一浩, 齋藤 功: 個性正常咬合者と骨格性下顎前突症患者の嚙下時舌圧発現様相の特徴. 平成 26 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟市, 2014 年 7 月 12 日, 抄録集: 2 頁, 2014.
- 19) 長谷川真菜, 山田好秋, 黒瀬雅之, 大竹正紀, 山村健介: 口腔・咽頭内気圧変化の経時的記録を用いた機能評価への使用. 第 25 回学術大会 日本咀嚼学会, 2014 年 9 月 20-21 日, 静岡, 抄録集: 32 頁, 2014.
- 20) 西野和臣, 小原彰浩, 焼田裕里, 越知佳奈子, 寺田員人, 齋藤 功: CBCT・歯列模型三次元統合モデルを応用した顎矯正手術前後における顔貌軟組織様相の解析-第 1 報-. 第 73 回日本矯正歯科学会大会, 2014 年 10 月 20-22 日, 千葉市, 抄録集: 165 頁, 2014.
- 21) 西野和臣, 小原彰浩, 焼田裕里, 越知佳奈子, 寺田員人, 齋藤 功: CBCT・歯列模型三次元統合モデルを応用した顎矯正手術前後における顔貌軟組織様相の解析-第 2 報-. 第 73 回日本矯正歯科学会大会,

- 2014年10月20-22日, 千葉市, 抄録集: 165頁, 2014.
- 22) 丹原 惇, ウリベ フラビオ, ナンダ ラビンドラ, 齋藤 功: 歯科矯正用アンカースクリューを用いた下顎大白歯近心移動メカニクスの有限要素解析. 第73回日本矯正歯科学会大会, 2014年10月20-22日, 千葉市, 抄録集: 187頁, 2014.
 - 23) 北見公平, 加来 賢, 魚島勝美, 齋藤 功: 矯正歯の移動時における歯根膜中のコラーゲン修飾酵素の発現. 第73回日本矯正歯科学会大会, 2014年10月20-22日, 千葉市, 抄録集: 197頁, 2014.
 - 24) 大倉麻里子, 大倉直人, 興地隆史, 齋藤 功: 矯正移動時のけるラット臼歯歯髓内 prostaglandin I₂受容体の発現解析. 第73回日本矯正歯科学会大会, 2014年10月20-22日, 千葉市, 抄録集: 208頁, 2014.
 - 25) 佐藤知弥子, 八巻正樹, 工藤和子, 齋藤 功: 総合大学新入生における歯列に対する自己評価と客観的評価との関連性. 第73回日本矯正歯科学会大会, 2014年10月20-22日, 千葉市, 抄録集: 266頁, 2014.
 - 26) 大森裕子, 森田修一, 高橋功次郎, 丹原 惇, 齋藤 功: 小白歯抜去により治療したアンクルI級上下顎前突における矯正治療前後の赤唇形態変化. 第73回日本矯正歯科学会大会, 2014年10月20-22日, 千葉市, 抄録集: 271頁, 2014.
 - 27) 新島綾子, 丹原 惇, 北見公平, 西野和臣, 齋藤 功: 片側性唇顎口蓋裂症例における矯正歯科治療後の前歯部歯肉縁形態の評価. 第73回日本矯正歯科学会大会, 2014年10月20-22日, 千葉市, 抄録集: 279頁, 2014.
 - 28) 竹山雅規, 福井忠雄, 小栗由充, 越知佳奈子, 中川麻里, 焼田裕里, 齋藤 功: 大白歯圧下に矯正用インプラントアンカー(仮称)が有効であった2症例. 第73回日本矯正歯科学会大会, 2014年10月20-22日, 千葉市, 抄録集: 298頁, 2014.
 - 29) 小島 拓, 加藤祐介, 長谷部大地, 高辻紘之, 倉部華奈, 齋藤 功, 小林正治: 顎変形症患者に対する顎矯正手術後アンケート調査. 第59回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2014年10月17-19日, 千葉市, 日口外誌 抄録集: 247頁, 2014.
 - 30) 小林正治, 長谷部大地, 竹山雅規, 齋藤 功: 顎矯正手術の効果が不十分であった閉塞型睡眠時無呼吸症を有する顎変形症患者の検討. 日本睡眠歯科学会第13回定期学術集会, 2014年11月8-9日, 東京, 睡眠口腔医学 1(1): 78頁, 2014.
 - 31) 西野和臣, 小原彰浩, 焼田裕里, 越知佳奈子, 寺田員人, 齋藤 功: CBCT・歯列模型三次元統合モデルを

応用した顎矯正手術前後における顔貌軟組織様相の解析. 平成26年度第2回新潟歯学会例会, 新潟市, 2014年11月8日, 抄録集: 1頁, 2014.

【研究会発表】

- 1) 朝日藤寿一: 顎裂部骨移植を行わなかった左側唇顎口蓋裂の一例 第2回口蓋裂勉強会, 東京, 2014年8月26日.
- 2) 福井忠雄: 補綴治療を回避した先天性6歯欠如症例. 第3回顎顔面包括歯科(IDT)セミナー, 仙台, 2014年12月21日.

【受賞】

- 1) Nihara J, Uribe F, Cardinal L, Nanda R, Saito I: Finite element analysis of mandibular molar protrusion with sliding mechanics and miniscrews. The 6th WIOC and 78th Annual Session of PCSO, Best Poster Award, 2014.10.2-5, Anaheim, USA.
- 2) 眞館幸平, 朝日藤寿一, 大湊 麗, 児玉泰光, 高木律男, 齋藤 功: 二段階口蓋形成法においてFurlow法を施行した口蓋裂児の顎発育-Perko法との比較-. 第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 優秀ポスター賞, 札幌市, 2014年5月29-30日, 日本口蓋裂学会雑誌39(2)抄録集: 190, 2014.
- 3) 齋藤 功: 甲北信越矯正歯科学会・特別功労賞, 第29回甲北信越矯正歯科学会大会, 2014年6月15日, 塩尻市.

【その他】

- 1) 八巻正樹: 歯科矯正治療のいろいろ. 阿賀町学校保健委員会総会 特別公演 2014年7月3日.
- 2) 朝日藤寿一: 歯ならびの異常と矯正歯科治療について. 北蒲原群歯科医師会主催 学校教員のための歯科講習会 新発田, 2014年11月27日.
- 3) 高橋功次郎: 上喉頭神経の両側同時刺激による嚥下反射の促進 Facilitation of the swallowing reflex with bilateral afferent input from the superior laryngeal nerve. (学位研究紹介) 新潟歯学会誌44(2): 115, 2014.
- 4) 八巻正樹, 丹原 惇: 第11章 パワーポイントを使う. 大学で学ぶための学習ガイドブック(前田健康監修, 小野和宏編集), 136-143頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2015.

摂食嚥下リハビリテーション学分野

【著書】

- 1) 井上 誠: 嚥下の神経機構. 特集「食べる」を考え